

航空自衛隊達第24号

予備自衛官の任免、服務、服装等に関する訓令（昭和37年防衛庁訓令第1号）の規定に基づき、及び同訓令を実施するため、航空自衛隊の予備自衛官の任用、服務等に関する達を次のように定める。

昭和61年12月19日

改正	平成	元年	2月28日	航空自衛隊達第4号
	平成	元年	3月16日	航空自衛隊達第25号
	平成	2年	3月27日	航空自衛隊達第13号
	平成	4年	6月29日	航空自衛隊達第32号
	平成	5年	9月20日	航空自衛隊達第33号
	平成	9年	11月25日	航空自衛隊達第26号
	平成	10年	7月21日	航空自衛隊達第16号
	平成	12年	3月13日	航空自衛隊達第6号
	平成	12年	4月28日	航空自衛隊達第28号
	平成	14年	3月27日	航空自衛隊達第6号
	平成	18年	7月26日	航空自衛隊達第35号
	平成	24年	3月23日	航空自衛隊達第10号
	平成	25年	7月31日	航空自衛隊達第70号
	平成	27年	10月19日	航空自衛隊達第51号
	平成	28年	1月29日	航空自衛隊達第15号
	平成	29年	5月26日	航空自衛隊達第22号
	平成	29年	6月23日	航空自衛隊達第27号
	令和	元年	6月27日	航空自衛隊達第14号
	令和	3年	3月17日	航空自衛隊達第18号
	令和	3年	5月25日	航空自衛隊達第49号
	令和	5年	4月1日	航空自衛隊達第26号

航空幕僚長 空将 大村平

航空自衛隊の予備自衛官の任用、服務等に関する達（登録報告）

## 目次

第1章総則（第1条－第3条）

第2章予備自衛官管理組織（第4条・第5条）

第3章任用等（第6条－第20条）

第4章服务等（第21条－第24条）

附則

第1章総則

（趣旨）

第1条 この達は、航空自衛隊の予備自衛官（以下「予備自衛官」という。）の管理組織、任用及び服务等に関して必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この達において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 担当方面隊司令官 予備自衛官の招集手続に関する訓令（昭和45年防衛庁訓令第33号）別表に定める区域を担当する航空方面隊司令官をいう。
- (2) 地区予備自衛官担当部隊等 予備自衛官の現住所の属する都道府県を担当区域とする別表に定める基地業務担当部隊等をいう。
- (3) 訓練招集部隊等 訓練招集命令により予備自衛官が出頭して訓練を受ける航空自衛隊の各基地及び各分屯基地の基地業務担当部隊等をいう。
- (4) 担当地方協力本部長 予備自衛官の現住所の属する市区町村を担当区域とする自衛隊地方協力本部長をいう。
- (5) 幹部予備自衛官 3等空尉以上の階級に指定された予備自衛官をいう。
- (6) 部隊等 航空自衛隊の編制に定める部隊及び機関をいう。
- (7) 防衛招集等 予備自衛官の招集手続に関する訓令第2条第1号に規定する防衛招集等をいう。
- (8) 防衛招集等部隊等 予備自衛官の招集手続に関する訓令第2条第3号に規定する防衛招集等部隊等をいう。
- (9) 任用基準数 予備自衛官の年度減耗見積り等を踏まえ、航空幕僚長が担当方面隊別に示すものをいう。

第3条 削除

第2章 予備自衛官管理組織

（予備自衛官管理組織）

第4条 予備自衛官の人事管理業務を組織的かつ効率的に実施するため、航空

自衛隊の予備自衛官管理組織を別表のとおり定める。

(担当方面隊司令官、地区予備自衛官担当部隊等の長及び部隊等の長の責務)

第5条 担当方面隊司令官は、予備自衛官の人事管理業務の実施に関して、関係する方面総監と連携し、担当区域に所在する地区予備自衛官担当部隊等の長を指揮又は統制して、当該業務を円滑に実施するものとする。

2 地区予備自衛官担当部隊等の長は、予備自衛官の人事管理の業務の実施に関して、担当区域に所在する部隊等の長を指揮又は統制し、関係する地方協力本部長と調整を密にして実施するとともに、当該地方協力本部長の行う予備自衛官の募集、採用等に関する業務を支援するものとする。

3 部隊等の長は、隊員に対し予備自衛官制度の趣旨について普及徹底を図るとともに、退職予定隊員の身上把握及び指導を的確に行い予備自衛官への志願を促進し、また退職後の連絡を密にし、部隊等との連携の強化を図るものとする。

### 第3章 任用等

(任用基準数)

第6条 予備自衛官の任用基準数は、毎年度当初又は必要に応じその都度示す。

2 前項に規定する任用基準数のうち、陸上自衛官及び海上自衛官であった者の任用基準数については必要に応じその都度示す。

3 担当方面隊司令官は、任用基準数に基づき、方面総監に対し別紙様式第1により採用計画数の通知を行い、その写しを担当地方協力本部長に送付するとともに、地区予備自衛官担当部隊等の長に対し、募集基準数を示すものとする。

(志願票の受理及び処理)

第7条 部隊等の長は、予備自衛官の任免、服務、服装等に関する訓令（以下「訓令」という。）第3条第2項の規定により予備自衛官志願票を受理したときは、当該予備自衛官志願票及び写真4枚（3.5cm×2.5cm）（以下「志願票等」という。）を、訓令第4条第2項の規定により継続任用志願票を受理したときは、当該継続任用志願票を、それぞれ速やかに地区予備自衛官担当部隊等の長に送付するものとする。

2 地区予備自衛官担当部隊等の長は、前項の規定により志願票等又は継続任用志願票の送付を受けたときは、当該志願者の現住所の属する市区町村の区域を担当区域とする地方協力本部の所在地が担当区域内の場合は、当該地方協力本部長に送付し、担当区域外の場合は、当該地方協力本部の所在地を担

当区域とする地区予備自衛官担当部隊等の長に対し、当該志願票等又は継続任用志願票を移管するものとする。

(予備自衛官志願者連名簿及び予備自衛官継続任用志願者連名簿の作成等)

第8条 地区予備自衛官担当部隊等の長は、前条の規定により送付を受けた予備自衛官志願票又は担当地方協力本部長から送付された予備自衛官志願票の写しに基づき、担当区域内の予備自衛官志願者について別紙様式第2による予備自衛官志願者連名簿（継続任用志願者については別紙様式第3による予備自衛官継続任用志願者連名簿）を、月別に作成し、翌月の15日までに担当方面隊司令官に送付するものとする。

2 担当方面隊司令官は、担当区域内の地区予備自衛官担当部隊等の長からそれぞれ送付された予備自衛官志願者連名簿又は予備自衛官継続任用志願者連名簿（以下「連名簿等」という。）に基づき、連名簿等を月別、地方協力本部分別に作成し、その月の25日までに航空幕僚長（募集・援護課長気付）及び担当地方協力本部長に送付するとともに、写しを地区予備自衛官担当部隊等の長に送付するものとする（23-P115（C-1））。ただし、当該月について該当事項がない場合は、これを省略することができる。

(志願者の身体検査)

第9条 部隊等の長は、予備自衛官志願者から身体検査証明について要請があった場合には、身体検査を実施し、証明するものとする。この際、当該部隊等でこれを実施することができないときは、当該身体検査を実施できる部隊等の長に依頼するものとする。

2 前項の身体検査は、訓令第3条に規定する予備自衛官志願票の身体検査証明の項目について実施するものとする。ただし、当該志願者が自衛官退職前3月以内に実施した健康診断又は身体検査と同一項目については、その診断又は検査をもって代えることができる。

(予備自衛官に対する採用等の通知)

第10条 准空尉以下の階級に指定される予備自衛官に対する採用又は継続任用についての通知は、担当地方協力本部長から依頼のあったものについて、地区予備自衛官担当部隊等の長がそれぞれの訓練招集部隊等の長を通じて行うものとする。

2 3等空尉以上の階級に指定される予備自衛官に対する採用及び継続任用についての通知は、航空幕僚長から担当方面隊司令官を経由して、担当地方協力本部長に送付する。この場合、地区予備自衛官担当部隊等の長は地方協力

本部長から予備自衛官に対する採用又は継続任用についての通知の交付依頼があったものについては、前項に準じて行うものとする。

(採用者の通知)

第11条 地区予備自衛官担当部隊等の長は、担当地方協力本部長から別紙様式第4により採用者の通知を受けたときは、速やかに担当方面隊司令官に報告するとともに、関係する訓練招集部隊等の長に通知するものとする。

2 担当方面隊司令官は、担当区域内の採用者の通知をとりまとめ速やかに航空幕僚長（募集・援護課長気付）に報告するものとする。

(職域の指定)

第12条 訓令第8条の規定に基づく予備自衛官に対する職域の指定は、特技の指定に基づき幹部自衛官であった者については小職域を、准空尉以下の自衛官であった者については大職域を、それぞれ担当方面隊司令官が指定し担当地方協力本部長に通知するものとする。

(特技の指定)

第13条 訓令第8条の規定に基づく予備自衛官に対する特技の指定は、原則として予備自衛官が自衛官であったときに付与されていた主特技を、幹部自衛官については航空幕僚長が、准空尉以下の予備自衛官については担当方面隊司令官がそれぞれ指定し、担当地方協力本部長に通知する。

2 指定した特技を本人の希望等により変更する必要がある場合には、予備自衛官が自衛官であったときに保有していた特技の中から、幹部予備自衛官については航空幕僚長が、准空尉以下の予備自衛官については担当方面隊司令官がそれぞれ変更する特技を決定し、担当方面隊司令官から担当地方協力本部長及び地区予備自衛官担当部隊等の長に通知するものとする。

3 陸上自衛官及び海上自衛官であった者を予備自衛官として採用し、特技を指定する場合には予備自衛官が自衛官であったときの職務等を考慮して相当する特技を、幹部予備自衛官については航空幕僚長が、准空尉以下の予備自衛官については担当方面隊司令官がそれぞれ指定し、担当地方協力本部長に通知する。

4 前項の規定に基づき指定した特技を変更する必要がある場合には、予備自衛官が自衛官であったときの職務等を考慮して相当する特技の中から変更する特技を、幹部予備自衛官については航空幕僚長が、准空尉以下の予備自衛官については担当方面隊司令官がそれぞれ決定し、担当方面隊司令官から担当地方協力本部長及び地区予備自衛官担当部隊等の長に通知するものとする。

る。

- 5 前2項の規定にかかわらず、予備自衛官が自衛官であったときの職務等を考慮して相当する特技がない場合には、警備特技に限り指定又は変更することができる。

(特技の表示)

第14条 特技の表示は、自衛官と区別するため、特技の名称には予備の文字を、特技番号にはRの記号を冠するものとし、特技の等級の表示は行わないものとする。

(予備自衛官個人管理カードの作成等)

第15条 地区予備自衛官担当部隊等の長は、予備自衛官の人事管理業務を円滑に実施するため、採用の都度、別紙様式第5による予備自衛官個人管理カードを作成し、担当区域の訓練招集部隊等の長に送付するものとする。

- 2 訓練招集部隊等の長は、訓練を担当する予備自衛官と連絡を密にし、予備自衛官個人管理カードを常に整備しておくものとする。

(予備自衛官人事月報の処理要領)

第16条 地区予備自衛官担当部隊等の長は、担当地方協力本部長から送付された予備自衛官人事月報(A)(別紙様式第6)及び予備自衛官人事月報(B)(別紙様式第7)各2部のうち、内容に変更がある予備自衛官人事月報については、当該予備自衛官人事月報1部を翌月の15日までに担当方面隊司令官に送付するものとする。

- 2 前項の規定により内容に変更のある予備自衛官人事月報の送付を受けた担当方面隊司令官は、予備自衛官人事月報(A)及び予備自衛官人事月報(B)を取りまとめて、翌月の20日までに航空幕僚長(募集・援護課長気付)に報告するとともに、予備自衛官人事月報(A)を航空総隊司令官に報告するものとする(23-P116(C-1))。

(予備自衛官が担当方面隊を異にして移動した場合の処置)

第17条 担当方面隊司令官は、前条に規定する予備自衛官人事月報(B)により、予備自衛官が担当方面隊を異にして移動した場合、移動後の担当方面隊司令官に、その者の自衛官等離職者身上書、人事評価記録書(第19条の2第5項の規定により送付を受けたものに限る。)その他必要な書類を移管す

るものとする。

(予備自衛官が地区予備自衛官担当部隊等を異にして移動した場合の処置)

第18条 地区予備自衛官担当部隊等の長は、第16条に規定する予備自衛官人事月報（B）により、予備自衛官が地区予備自衛官担当部隊等を異にして移動したときは、区域内の訓練招集部隊等の長に通知するとともに、予備自衛官個人管理カード、離職者身上書等を移動後の地区予備自衛官担当部隊等の長に移管するものとする。

（予備自衛官人事状況確認名簿の作成等）

第19条 地区予備自衛官担当部隊等の長は、3等空尉以上及び准空尉以下の区分ごとに、それぞれ毎年1回（10月末）、別紙様式第9による予備自衛官人事状況確認名簿を2部作成し、これを担当地方協力本部長に送付して人事状況の確認を求めるものとする。

2 地区予備自衛官担当部隊等の長は、担当地方協力本部長の確認を受けたのち予備自衛官人事状況確認名簿を、幹部予備自衛官については2部、准空尉以下の予備自衛官については1部を担当方面隊司令官に送付するものとする。

3 担当方面隊司令官は、幹部予備自衛官の予備自衛官人事状況確認名簿1部を航空幕僚長（募集・援護課長気付）に送付するものとする。

（人事評価）

第19条の2 訓令第9条の2第1項に規定する評価者の指定は、訓練招集部隊等の長が訓令第9条第2項に規定する実施権者として訓練招集前に行うものとする。

2 訓令第9条の3第1項に規定する航空幕僚長の定める人事評価記録書は、別紙様式第10のとおりとする。ただし、新たに採用した予備自衛官に対する訓練期間を1日間とする訓練招集の場合には、航空自衛隊の予備自衛官の招集手続に関する達（昭和61年航空自衛隊達第25号）第26条に規定する訓練招集者名簿の摘要欄に必要な事項を記入することによりこれに代えることができる。

3 訓練招集部隊等の長は、訓令第9条の3第3項の規定により担当地方協力本部長に人事評価記録書を送付するほか、その被評価者である予備自衛官に指定されている階級に応じ、それぞれ次項又は第5項の定めるところにより、当該人事評価記録書を送付するものとする。

4 訓練招集部隊等の長は、幹部予備自衛官である被評価者に係る人事評価記録書で訓令第9条の2第2項の規定による確認を行ったものを地区予備自衛官担当部隊等の長及び担当方面隊司令官を経由して、航空幕僚長（補任課長

気付) に送付するものとする。この場合において、訓練招集部隊等の長は、当該人事評価記録書の1部を控えとして保管するものとする。

- 5 訓練招集部隊等の長は、准空尉以下の予備自衛官である被評価者に係る人事評価記録書で訓令第9条の2第2項の規定による確認を行ったものを地区予備自衛官担当部隊等の長を経由して、担当方面隊司令官に送付するものとする。この場合において、訓練招集部隊等の長は、当該人事評価記録書の1部を控えとして保管するものとする。

## 第20条 削除

### 第4章 服務等

(訓練招集中の事故等の処置)

第21条 訓練招集部隊等の長は、訓練招集中に負傷又は発病した予備自衛官を入院させた場合には、担当地方協力本部長、当該予備自衛官の招集連絡人及び留守担当者にその旨を通報するとともに、地区予備自衛官担当部隊等の長に通知するものとする。

- 2 訓練招集部隊等の長は、入院させた予備自衛官の病状を常に把握するとともに、担当地方協力本部長、招集連絡人及び留守担当者と密接に連絡を保つように努めるものとする。

(訓練招集中の死亡等の場合の処置)

第22条 訓練招集中の予備自衛官が危篤に陥り、又は死亡したときは、自衛官の例により処置するものとする。

- 2 前項の場合において、危篤又は死亡の通報及び死亡報告書の提出は、訓練招集部隊等の長が行い、死亡の場合の処置については、訓練招集部隊等の長が地区予備自衛官担当部隊等の長及び担当地方協力本部長と調整又は協議して行うものとする。

## 第23条 削除

(予備自衛官の適格性の確認及び適性評価の手続関係)

第24条 訓練招集部隊等の長は、当該部隊等を訓練招集部隊等とする予備自衛官が秘密を取り扱う見込みを有する場合、当該予備自衛官が任用された際に、「秘密の取扱いに関する適格性の確認等に関する訓令(平成21年防衛省訓令第25号)」に規定する適格性の確認及び「特定秘密の保護に関する法律(平成25年法律第108号)」に規定する適性評価を受けさせるものとする。

附則



この達は、昭和61年12月19日から施行する。

附則（平成元年2月28日航空自衛隊達第4号抄）

この達は、平成元年2月28日から施行する。

附則（平成元年3月16日航空自衛隊達第25号）

この達は、平成元年3月16日から施行する。

附則（平成2年3月27日航空自衛隊達第13号）

この達は、平成2年3月31日から施行する。

附則（平成4年6月29日航空自衛隊達第32号抄）

この達は、平成4年7月1日から施行する。

附則（平成5年9月20日航空自衛隊達第33号）

この達は、平成5年10月1日から施行する。

附則（平成9年11月25日航空自衛隊達第26号抄）

この達は、平成9年12月1日から施行する。

附則（平成10年7月21日航空自衛隊達第16号）

この達は、平成10年7月27日から施行する。

附則（平成12年3月13日航空自衛隊達第6号）

この達は、平成12年4月1日から施行する。

附則（平成12年4月28日航空自衛隊達第28号）

この達は、平成12年5月8日から施行する。

附則（平成14年3月27日航空自衛隊達第6号）

この達は、平成14年3月27日から施行する。

附則（平成18年7月26日航空自衛隊達第35号）

1 この達は、平成18年7月31日から施行する。

2 この達施行の際、現に作成されている従前の規定による様式用の紙は、残存部数に限り所要の修正の上使用することができる。

附則（平成24年3月23日航空自衛隊達第10号）

この達は、平成24年3月26日から施行する。

附則（平成25年7月31日航空自衛隊達第70号）

この達は、平成25年8月1日から施行する。

附則（平成27年10月19日航空自衛隊達第51号）

1 この達は、平成27年10月19日から施行する。

2 既に採用されている予備自衛官に対する第2条第3号の改正規定は平成28年3月1日から適用する。

附則（平成28年1月29日航空自衛隊達第15号）  
この達は、平成28年1月31日から施行する。

附則（平成29年5月26日航空自衛隊達第22号）  
この達は、平成29年5月30日から施行する。

附則（平成29年6月23日航空自衛隊達第27号）  
この達は、平成29年7月1日から施行する。

附則（令和元年6月27日航空自衛隊達第14号）  
この達は、令和元年7月1日から施行する。

附則（令和3年3月17日航空自衛隊達第18号）  
この達は、令和3年3月18日から施行する。

附則（令和3年5月25日航空自衛隊達第49号）  
この達は、令和3年5月25日から施行する。

附則（令和5年4月1日航空自衛隊達第26号）  
この達は、令和5年4月1日から施行する。

別表

別表（第4条関係）

航空自衛隊予備自衛官管理組織

区分	方面隊	地区予備自衛官担当部隊等		管轄部隊等	担当区域
		名称	担当部隊等		
航空 総 隊	北部航空 方面隊	千歳地区予備自衛官担当部隊	第2航空団	千歳、長沼、稚内、網走、根室、当別、奥尻島、襟裳、八雲の基地及び分屯基地に所在する部隊等	北海道
		三沢地区予備自衛官担当部隊	第3航空団	三沢、大湊、車力、東北町、山田、加茂、秋田の基地及び分屯基地に所在する部隊等	青森県、岩手県、秋田県
		松島地区予備自衛官担当部隊	第4航空団	松島、大滝根山の基地及び分屯基地に所在する部隊等	宮城県、山形県、福島県
	中部航空 方面隊	百里地区予備自衛官担当部隊	第7航空団	百里、霞ヶ浦の基地及び分屯基地に所在する部隊等	茨城県、栃木県
		木更津地区予備自衛官担当部隊	第4補給処木更津支処	習志野、木更津、峯岡山の基地及び分屯基地に所在する部隊等	千葉県
		府中地区予備自衛官担当部隊	航空気象群	十条、市ヶ谷、目黒、府中、横田、武山の基地及び分屯基地に所在する部隊等	東京都、神奈川県
		入間地区予備自衛官担当部隊	中部航空警戒管制団	熊谷、入間、硫黄島の基地及び分屯基地に所在する部隊等	群馬県、埼玉県
		浜松地区予備自衛官担当部隊	第1航空団	静浜、浜松、御前崎の基地及び分屯基地に所在する部隊等	山梨県、長野県、静岡県
		小牧地区予備自衛官担当部隊	第1輸送航空隊	小牧、笠取山、高蔵寺、白山、饗庭野の基地及び分屯基地に所在する部隊等	愛知県、三重県、滋賀県
		岐阜地区予備自衛官担当部隊	第2補給処	岐阜基地に所在する部隊等	岐阜県
		小松地区予備自衛官担当部隊	第6航空団	小松、佐渡、新潟、輪島の基地及び分屯基地に所在する部隊等	新潟県、富山県、石川県、福井県
		奈良地区予備自衛官担当部隊	幹部候補生学校	奈良、経ヶ岬、串本の基地及び分屯基地に所在する部隊等	京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
	西部航空 方面隊	美保地区予備自衛官担当部隊	第3輸送航空隊	美保、高尾山の基地及び分屯基地に所在する部隊等	鳥取県、島根県、岡山県、広島県
		防府地区予備自衛官担当部隊	第12飛行教育団	防府北、防府南、見島、土佐清水の基地及び分屯基地に所在する部隊等	山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
		築城地区予備自衛官担当部隊	第8航空団	築城基地に所在する部隊等	大分県
		春日地区予備自衛官担当部隊	西部航空警戒管制団	芦屋、春日、高良台、背振山、海栗島、福江島の基地及び分屯基地に所在する部隊等	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県
		新田原地区予備自衛官担当部隊	第5航空団	新田原、高畑山、下甕島、奄美大島、沖永良部島の基地及び分屯基地に所在する部隊等	宮崎県、鹿児島県
	南西航空 方面隊	那覇地区予備自衛官担当部隊	第9航空団	那覇、恩納、久米島、知念、与座岳、宮古島の基地及び分屯基地に所在する部隊等	沖縄県

別紙様式第1-1 (第6条関係)

発簡番号  
発簡年月日

方面総監 殿

担当方面隊司令官

令和 年度航空自衛隊予備自衛官採用計画数について (通知)

担当地方 協力本部	地区予備自衛官 担 当 部 隊 (基 地)	現任用者数 <sup>※</sup> / 任用基準数 <sup>※</sup> ( . 3. 31現在)				令和 年度 採用計画数		備 考
		幹部	准曹	空士	計	幹部 准曹 空士	名 名 名	
		/	/	/	/	幹部 准曹 空士	名 名 名	
		/	/	/	/	幹部 准曹 空士	名 名 名	
		/	/	/	/	幹部 准曹 空士	名 名 名	
		/	/	/	/	幹部 准曹 空士	名 名 名	
		/	/	/	/	幹部 准曹 空士	名 名 名	
		/	/	/	/	幹部 准曹 空士	名 名 名	
	合 計	/	/	/	/	幹部 准曹 空士	名 名 名	

注：1 職域別又は階級別の採用が必要な場合は、備考欄に示すものとする。

2 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、縦長に使用する。

別紙様式第1-2 (第6条関係)

発簡番号  
発簡年月日

地区予備自衛官担当部隊等の長 殿

担当方面隊司令官

令和 年度航空自衛隊予備自衛官募集基準数について (通知)

地区予備自衛官担当部隊等		現任用者数 <sup>※</sup> / 任用基準数 <sup>※</sup> ( . 3. 31現在)				令和 年度 募集基準数		備 考
名 称	担当部隊等	幹部	准曹	空士	計	幹部	空士	
		/	/	/	/	幹部 准曹 空士	名 名 名	
		/	/	/	/	幹部 准曹 空士	名 名 名	
		/	/	/	/	幹部 准曹 空士	名 名 名	
		/	/	/	/	幹部 准曹 空士	名 名 名	
		/	/	/	/	幹部 准曹 空士	名 名 名	
		/	/	/	/	幹部 准曹 空士	名 名 名	
		/	/	/	/	幹部 准曹 空士	名 名 名	
合 計		/	/	/	/	幹部 准曹 空士	名 名 名	

注：1 地区予備自衛官担当部隊等の名称及び担当部隊等は、別表に示す表記を用いるものとする。

2 職域別又は階級別の採用が必要な場合は、備考欄に示すものとする。

3 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、縦長に使用する。

別紙様式第2（第8条関係）

予備自衛官志願者連名簿  
 (23-P115(C-1))  
 ( 年 月 日)

担当方面隊司令官  
 地区予備自衛官担当部隊等の長

航空

1 担当 地本名	2 受付		3 氏名 (性別)	4 階級	5 年齢	6 職域	7 特技	8 訓練招 集指定 部隊等	9 自衛官 在職期間 (年・月)	10 自衛官 退職 理由別	11 自衛官 退職後の 経過年月	12 職業 (職名)	13 人事評価		14 身体 判定	15 備考	
	番号	年月日											能力評価	業績評価			

- 記入要領等： 1 幹部及び准空尉以下に区分し、それぞれ別葉として作成する。  
 2 「5」の欄には、志願票を受理した日の属する月の末日の年齢を記入する。  
 3 「8」の欄には、地区予備自衛官担当部隊等の長が当該予備自衛官志願者連名簿を作成する場合は、記入しないものとする。  
 4 「12」の欄は、自衛官退職時に予備自衛官を志願する者については省略することができる。  
 5 「13」の欄には、別に定める自衛官等離職者身上書に記入されている人事評価の評語を記入する。  
 なお、当該評語ではなく勤務成績が記入されている場合にあっては、次により当該勤務成績に応じた記号を「能力評価」の欄に記入する。  
 A：非常に優れている。 B：優れている。 C：普通である。 D：劣っている。 E：非常に劣っている。  
 6 「14」の欄には、訓令別記様式第1に定める予備自衛官志願票の「身体検査証明」の欄に記入されている内容が自衛官等の採用のための身体検査に関する訓令（昭和29年防衛庁訓令14号）第4条第1号及び第2号に規定する基準に該当するか否かを判断し、「適」又は「不適」を記入する。  
 7 「15」の欄は、担当方面隊司令官の作成する予備自衛官志願者連名簿には、採用希望序列を付するものとする。  
 8 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、横長に使用する。

別紙様式第3（第8条関係）

予備自衛官継続任用志願者連名簿  
 (23-P115(C-1))  
 ( 年 月 末任期満了の分)

担当方面隊司令官  
 地区予備自衛官担当部隊等の長

航空

1 受付		2 氏名 (性別)	3 階級	4 年齢	5 職域	6 特技	7 継続任用 回数	8 訓練招集		9 防衛招集等 年月日	10 健康状態	11 訓練招集部隊等の 長の意見
番号	年月日							回数	日数			

- 記入要領等：
- 1 幹部及び准空尉以下とに区分し、それぞれ別葉として作成する。
  - 2 4の欄は、任用期間の満了する日の翌日の年齢とする。
  - 3 8の欄は、分母に命令した合計回数及び合計した日数を、分子に出頭した合計回数及び合計した日数を記入する。
  - 4 防衛招集等中は8の欄について、防衛招集等時以外は9の欄については記入しない。
  - 5 10の欄は、最も近い時期に実施した健康診断の判定区分を記入する。
  - 6 11の欄の訓練招集部隊等の長の意見は、地区予備自衛官担当部隊等の長が連名簿を作成するに当たって、訓練招集部隊等の長から意見を聴取して、記入するものとする。
  - 7 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、横長に使用する。

別紙様式第4（第11条関係）

地本第 号

殿

地方協力本部長

予備自衛官の採用について（通知）

標記について、下記の者を予備自衛官として採用したので通知する。

階級	氏名 (性別)	認識番号	採用年月日	退職年月日	元所属部隊	発令番号
						地本人発 第 号

注：用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、縦長に使用する。



別紙様式第5 (第15条関係)

予備自衛官個人管理カード																		
①氏名(ふりがな)			男 女		. . . 3士		. . . 准尉		⑩職域		⑭写真 (貼付)							
					. . . 2士		. . . 3尉											
認番( )昭・平 . . . 生			⑨階級歴		. . . 1士		. . . 2尉		⑪特技						番 号		名 称	
					. . . 士長		. . . 1尉											
②本籍地					. . . 3曹		. . . 3佐											
					. . . 2曹		. . . 2佐											
③現住所					. . . 1曹		. . . 1佐											
					. . . 曹長													
④職業	職業名		会社等名		⑫自衛隊主要勤務歴						⑬各種免許							
	勤務場所 (TEL )				期 間		職 務		部 隊 (基地)									
⑤留守担当者	氏名		続柄		~													
	住所 (TEL )				~													
⑥招集連絡人	氏名		続柄		~								⑯確認					
	住所 (TEL )				~													
					⑬予備自衛官採用年月日 及び根拠													
	所 轄 警察署		最寄り駅 及び距離 Km		⑭予備自衛官退職年月日 及び根拠													
⑦入隊	年月日		年月日		⑮地方協力本部担当年月日		⑯教育訓練		⑰最終学歴									
	部 隊		部 隊															
	基 地		基 地						⑱専門科目									

②氏名 (認番)		②現住所		②指定階級		②指定職種		⑤訓練招集部隊等		⑥手帳番号		⑦隊友会入会の有無		⑧手当支払方法	
( ) 男 女												有 役員名 無		銀行振込 隔地払 現金払	
⑨訓練招集								⑩防衛招集等							
年度	期間 (日数)	訓練部隊等 (基地)	健康 状態	年度	期間 (日数)	訓練部隊等 (基地)	健康 状態	命令書交付番号 及び命令符号		防衛招集等部隊等		招集年月日 (解除年月日)			
												( : : ) ( : : )			
								⑫家族 状況	氏 名	生年月日	続柄	健否	職 業		
									・ ・						
									・ ・						
									・ ・						
									・ ・						
								⑬身体 状況	身 長	胸 囲	体 重	血液型			
									cm	cm	kg				
								⑭被服等 の号数	正帽	作業帽	制服	作業服	外とう	編上靴	短靴
									号	号	号	号	号	cm	cm
								⑮参考 事項	予備自衛官任用後の賞罰						
									主な病歴						
⑯予備自衛官 手 当		手当停止年月日		・ ・		・ ・		・ ・		・ ・		・ ・		・ ・	
		手当再開年月日		・ ・		・ ・		・ ・		・ ・		・ ・		・ ・	

備考：記載要領は、付紙による。



	記入項目	記入要領	記入例											
表    面	③現住所	(1) 生活の本拠となる住所を記入。電話のある場合は、( ) して記入。以下同じ。 (2) 会社等の寮に入居している場合は、その所在地及び寮名を記入	③現住所 埼玉県狭山市狭山 24-20 東亜紡績「東亜寮」 (TEL 048-623-4242)											
	④職業	(1) 勤務場所については、ビル等の中にある場合は、ビル等名を( ) して記入 (2) 下段には職務名、電話番号を記入	④職業 <table border="1"> <tr> <td>職業名</td> <td>サービス業</td> <td>会社等名</td> <td>後藤観光</td> </tr> <tr> <td colspan="4">勤務場所 東京都港区赤坂 7 丁目 42 番地 (山田ビル) 外交員 (TEL 03-274-5084)</td> </tr> </table>	職業名	サービス業	会社等名	後藤観光	勤務場所 東京都港区赤坂 7 丁目 42 番地 (山田ビル) 外交員 (TEL 03-274-5084)						
	職業名	サービス業	会社等名	後藤観光										
	勤務場所 東京都港区赤坂 7 丁目 42 番地 (山田ビル) 外交員 (TEL 03-274-5084)													
⑤留守担当者	(1) 氏名・続柄・住所を記入 (2) 留守担当者の該当のない場合は、連絡の必ずとれる人を記入	⑤留守担当者 <table border="1"> <tr> <td>氏名</td> <td>山田太郎</td> <td>続柄</td> <td>父</td> </tr> <tr> <td colspan="4">住所 東京都練馬区北町 2 丁目 34-25 (TEL 03-931-2323)</td> </tr> </table>	氏名	山田太郎	続柄	父	住所 東京都練馬区北町 2 丁目 34-25 (TEL 03-931-2323)							
氏名	山田太郎	続柄	父											
住所 東京都練馬区北町 2 丁目 34-25 (TEL 03-931-2323)														
⑥招集連絡人	(1) 招集連絡人の氏名・続柄・住所・所轄警察署・最寄り駅名(交通機関名)・距離を記入 (2) 招集連絡人指定同意書の住所等を転記	⑥招集連絡人 <table border="1"> <tr> <td>氏名</td> <td>山田太郎</td> <td>続柄</td> <td>父</td> </tr> <tr> <td colspan="4">住所 東京都練馬区北町 2 丁目 34-25 (TEL 03-931-2323)</td> </tr> <tr> <td>所轄警察署</td> <td>練馬警察署</td> <td>最寄り駅及び距離</td> <td>東武練馬(東武東上線) 2 km</td> </tr> </table>	氏名	山田太郎	続柄	父	住所 東京都練馬区北町 2 丁目 34-25 (TEL 03-931-2323)				所轄警察署	練馬警察署	最寄り駅及び距離	東武練馬(東武東上線) 2 km
氏名	山田太郎	続柄	父											
住所 東京都練馬区北町 2 丁目 34-25 (TEL 03-931-2323)														
所轄警察署	練馬警察署	最寄り駅及び距離	東武練馬(東武東上線) 2 km											

	記入項目	記入要領	記入例																
表    面	⑦入隊	(1) 入隊年月日・部隊・基地を記入 (2) 再入隊の場合は最初の入隊を上段、2回目の入隊を下段に( )して記入	⑦ 入 隊	<table border="1"> <tr> <td>年 月 日</td> <td>昭 60. 3. 28 ( . . )</td> </tr> <tr> <td>部 隊</td> <td>1 教群 ( 2 教群)</td> </tr> <tr> <td>基 地</td> <td>防府 (熊谷)</td> </tr> </table>	年 月 日	昭 60. 3. 28 ( . . )	部 隊	1 教群 ( 2 教群)	基 地	防府 (熊谷)									
	年 月 日	昭 60. 3. 28 ( . . )																	
	部 隊	1 教群 ( 2 教群)																	
	基 地	防府 (熊谷)																	
⑧退職	(1) 退職年月日・部隊・基地を記入 (2) 再入隊の場合は最初の退職を下段に( )して記入し、2回目の退職については上段に記入	⑧ 退 職	<table border="1"> <tr> <td>年 月 日</td> <td>令 5. 4. 3 (平 28. 11. 18)</td> </tr> <tr> <td>部 隊</td> <td>2 空 団 ( 4 空団)</td> </tr> <tr> <td>基 地</td> <td>千 歳 (千 歳)</td> </tr> </table>	年 月 日	令 5. 4. 3 (平 28. 11. 18)	部 隊	2 空 団 ( 4 空団)	基 地	千 歳 (千 歳)										
年 月 日	令 5. 4. 3 (平 28. 11. 18)																		
部 隊	2 空 団 ( 4 空団)																		
基 地	千 歳 (千 歳)																		
⑨階級歴	(1) 自衛官退職までの階級歴を記入 (2) 予備自衛官在籍中の昇進については、( )して記入	⑨ 階 級 歴	<table border="1"> <tr> <td>平 . . . 3 士</td> <td>. . . 准尉</td> </tr> <tr> <td>平 1. 3. 28 2 士</td> <td>. . . 3 尉</td> </tr> <tr> <td>平 2. 1. 1 1 士</td> <td>. . . 2 尉</td> </tr> <tr> <td>平 3. 7. 1 士長</td> <td>. . . 1 尉</td> </tr> <tr> <td>平 8. 7. 1 3 曹</td> <td>. . . 3 佐</td> </tr> <tr> <td>平 18. 7. 1 2 曹</td> <td>. . . 2 佐</td> </tr> <tr> <td>平 28. 7. 1 1 曹</td> <td>. . . 1 佐</td> </tr> <tr> <td>令 3. 1. 1 曹長</td> <td></td> </tr> </table>	平 . . . 3 士	. . . 准尉	平 1. 3. 28 2 士	. . . 3 尉	平 2. 1. 1 1 士	. . . 2 尉	平 3. 7. 1 士長	. . . 1 尉	平 8. 7. 1 3 曹	. . . 3 佐	平 18. 7. 1 2 曹	. . . 2 佐	平 28. 7. 1 1 曹	. . . 1 佐	令 3. 1. 1 曹長	
平 . . . 3 士	. . . 准尉																		
平 1. 3. 28 2 士	. . . 3 尉																		
平 2. 1. 1 1 士	. . . 2 尉																		
平 3. 7. 1 士長	. . . 1 尉																		
平 8. 7. 1 3 曹	. . . 3 佐																		
平 18. 7. 1 2 曹	. . . 2 佐																		
平 28. 7. 1 1 曹	. . . 1 佐																		
令 3. 1. 1 曹長																			
⑩職域	担当方面隊司令官の指定した職域を記入	⑩職域	通信																

	記入項目	記入要領	記入例																								
表     面	⑪特技	航空幕僚長又は担当方面隊司令官の指定した特技を記入	<table border="1"> <thead> <tr> <th>⑪特技</th> <th>番号</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>R293-2</td> <td>予備機上無線</td> </tr> </tbody> </table>	⑪特技	番号	名称		R293-2	予備機上無線																		
	⑪特技	番号	名称																								
		R293-2	予備機上無線																								
	⑫自衛隊主要勤務歴	自衛隊の主要な職務の勤務について期間、職務名、部隊（基地又は分屯基地）を古い順に記入	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">⑫自衛隊主要勤務歴</th> </tr> <tr> <th>期 間</th> <th>職 務</th> <th colspan="2">部隊（基地）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平 2. 7. 15 ~ 11. 4. 4</td> <td>通信</td> <td colspan="2">1 空団（浜松）</td> </tr> <tr> <td>平 11. 4. 5 ~ 20. 7. 14</td> <td>機上無線</td> <td colspan="2">3 輸空隊（美保）</td> </tr> <tr> <td>平 20. 7. 15 ~ 27. 4. 4</td> <td>〃</td> <td colspan="2">〃（〃）</td> </tr> <tr> <td>平 27. 4. 5 ~ 令 5. 4. 3</td> <td>通信</td> <td colspan="2">2 空団（千歳）</td> </tr> </tbody> </table>	⑫自衛隊主要勤務歴				期 間	職 務	部隊（基地）		平 2. 7. 15 ~ 11. 4. 4	通信	1 空団（浜松）		平 11. 4. 5 ~ 20. 7. 14	機上無線	3 輸空隊（美保）		平 20. 7. 15 ~ 27. 4. 4	〃	〃（〃）		平 27. 4. 5 ~ 令 5. 4. 3	通信	2 空団（千歳）	
	⑫自衛隊主要勤務歴																										
	期 間	職 務	部隊（基地）																								
平 2. 7. 15 ~ 11. 4. 4	通信	1 空団（浜松）																									
平 11. 4. 5 ~ 20. 7. 14	機上無線	3 輸空隊（美保）																									
平 20. 7. 15 ~ 27. 4. 4	〃	〃（〃）																									
平 27. 4. 5 ~ 令 5. 4. 3	通信	2 空団（千歳）																									
⑬予備自衛官採用年月日	予備自衛官に採用された日付及びその根拠を記入	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>⑬予備自衛官 採用年月日</td> <td>令 5. 12. 25 (個命第 105 号)</td> </tr> </tbody> </table>	⑬予備自衛官 採用年月日	令 5. 12. 25 (個命第 105 号)																							
⑬予備自衛官 採用年月日	令 5. 12. 25 (個命第 105 号)																										
⑭予備自衛官退職年月日及び根拠	予備自衛官の退職年月日及びその根拠を記入	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>⑭予備自衛官 退職年月日</td> <td>令 7. 5. 1 訓練不出頭 (個命第 85 号)</td> </tr> </tbody> </table>	⑭予備自衛官 退職年月日	令 7. 5. 1 訓練不出頭 (個命第 85 号)																							
⑭予備自衛官 退職年月日	令 7. 5. 1 訓練不出頭 (個命第 85 号)																										
⑮地方協力本部担当年月日	地方協力本部で当該予備自衛官の管理を担当することになった年月日を記入	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">⑮地方協力本部担当年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東京地方協力本部</td> <td></td> <td>令 5. 12. 25</td> </tr> <tr> <td>埼玉</td> <td>〃</td> <td>令 6. 10. 25</td> </tr> </tbody> </table>	⑮地方協力本部担当年月日			東京地方協力本部		令 5. 12. 25	埼玉	〃	令 6. 10. 25																
⑮地方協力本部担当年月日																											
東京地方協力本部		令 5. 12. 25																									
埼玉	〃	令 6. 10. 25																									
⑯教育訓練	自衛隊の各種学校（防大、航空教育隊を除く。）における教育訓練を記入	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>⑯教育訓練</td> </tr> <tr> <td>基地警備教導訓練（令 4. 9~4. 11）</td> </tr> </tbody> </table>	⑯教育訓練	基地警備教導訓練（令 4. 9~4. 11）																							
⑯教育訓練																											
基地警備教導訓練（令 4. 9~4. 11）																											

	記入項目	記入要領	記入例								
表 面	⑰最終学歴	(1) 最終学歴と卒業年次を記入 (2) 卒業年次については、学歴の下に ( ) して記入	⑰ 最終学歴 高 卒 (平 1.3)								
	⑱専門科目	高等学校卒業以上の者で工科系のものは専門科目を記入	⑱ 専門科目 建 設								
	⑲各種免許	団・地方公共団体、商工会議所若しくはこれらに準ずる団体又は法令に基づく機関から取得した免許、検定、資格等を記入	⑲ 各種免許 大型自動車免許 3級整備士 (ガソリン エンジン・シャシー) 珠算1級								
	⑳確認	訓練招集時等において本人に閲覧させ間違いのないことを確認させた後、本人に姓を自署させる。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">⑳確 認</th> </tr> <tr> <th>令 5.8.5</th> <th>令 6.10.5</th> <th>令 7.3.10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>佐藤</td> <td>佐藤</td> <td>佐藤</td> </tr> </tbody> </table>	⑳確 認			令 5.8.5	令 6.10.5	令 7.3.10	佐藤	佐藤
⑳確 認											
令 5.8.5	令 6.10.5	令 7.3.10									
佐藤	佐藤	佐藤									
裏 面	㉑氏名 (認番) ㉒現住所 ㉓指定階級 ㉔指定職域	表面と同様 (裏面のみに使用する場合を考慮して設けた欄)	表面①、③、⑩及び⑪に同じ。								
	㉕訓練招集部隊等	指定された訓練招集部隊等名を記入	㉕ 訓練招集部隊等 中部航空警戒管制団								

	記入項目	記入要領	記入例																																													
裏	②⑥手帳番号	予備自衛官手帳交付簿から転記。交付年月日を下段に( )して記入	<table border="1"> <tr> <td>②⑥ 手帳番号 第 910 号 (令 6. 6. 1)</td> </tr> </table>	②⑥ 手帳番号 第 910 号 (令 6. 6. 1)																																												
	②⑥ 手帳番号 第 910 号 (令 6. 6. 1)																																															
	②⑦隊友会入会の有無	隊友会入会者、非入会者について有無の該当項目を○印で囲む。役員については、役員名を記入	<table border="1"> <tr> <td>②⑦ 隊友会入会の有無 ○ 役員名 無 地域支部長</td> </tr> </table>	②⑦ 隊友会入会の有無 ○ 役員名 無 地域支部長																																												
②⑦ 隊友会入会の有無 ○ 役員名 無 地域支部長																																																
②⑧手当支払方法	現金払、隔地払、銀行振込のいずれか該当項目を○で囲む。	<table border="1"> <tr> <td>②⑧ 手当支払方法 ○ 現金払 隔地払 銀行振込</td> </tr> </table>	②⑧ 手当支払方法 ○ 現金払 隔地払 銀行振込																																													
②⑧ 手当支払方法 ○ 現金払 隔地払 銀行振込																																																
面	②⑨訓練招集	<p>(1) 年度、期間、訓練部隊等(基地)、健康状態を記入、分割して招集した人は、2段を使用して記入 取消しの際は、「期間(日数)」「訓練部隊等(基地)」の枠を「理由」と読み替えて理由を簡明に記入</p> <p>(2) 変更したものは、2段使用し上段は最初の招集期間を記入し、「訓練部隊等(基地)」の枠を理由と読み替えて理由を記入し、下段に出頭した事実を記入</p> <p>(3) 健康状態は、訓練招集出頭時の健康診断の判定適、不適を記入</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">②⑨訓練招集</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>期間(日数)</th> <th>訓練部隊等(基地)</th> <th>健康状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令 6</td> <td>6. 21～ 6. 25(5 日)</td> <td>中警団 (入間)</td> <td>適</td> <td>通常の場合</td> </tr> <tr> <td>令 6</td> <td>6. 21～ 6. 23(3 日)</td> <td>中警団 (入間)</td> <td>適</td> <td>分割の場合</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>10. 1～10. 2(2 日)</td> <td>〃 ( 〃 )</td> <td>適</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令 6</td> <td colspan="2">長期国外出張(取消)</td> <td></td> <td>取消しの場合</td> </tr> <tr> <td>令 6</td> <td>6. 21～ 6. 25</td> <td>会社の都合 (変更)</td> <td></td> <td>変更した場合</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>10. 1～10. 5(5 日)</td> <td>中警団 (入間)</td> <td>適</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令 6</td> <td>5. 5～ 5. 5(1 日)</td> <td>東京P10 (市ヶ谷)</td> <td></td> <td>1日訓練の場合</td> </tr> </tbody> </table>	②⑨訓練招集					年度	期間(日数)	訓練部隊等(基地)	健康状態	備考	令 6	6. 21～ 6. 25(5 日)	中警団 (入間)	適	通常の場合	令 6	6. 21～ 6. 23(3 日)	中警団 (入間)	適	分割の場合	〃	10. 1～10. 2(2 日)	〃 ( 〃 )	適		令 6	長期国外出張(取消)			取消しの場合	令 6	6. 21～ 6. 25	会社の都合 (変更)		変更した場合	〃	10. 1～10. 5(5 日)	中警団 (入間)	適		令 6	5. 5～ 5. 5(1 日)	東京P10 (市ヶ谷)		1日訓練の場合
②⑨訓練招集																																																
年度	期間(日数)	訓練部隊等(基地)	健康状態	備考																																												
令 6	6. 21～ 6. 25(5 日)	中警団 (入間)	適	通常の場合																																												
令 6	6. 21～ 6. 23(3 日)	中警団 (入間)	適	分割の場合																																												
〃	10. 1～10. 2(2 日)	〃 ( 〃 )	適																																													
令 6	長期国外出張(取消)			取消しの場合																																												
令 6	6. 21～ 6. 25	会社の都合 (変更)		変更した場合																																												
〃	10. 1～10. 5(5 日)	中警団 (入間)	適																																													
令 6	5. 5～ 5. 5(1 日)	東京P10 (市ヶ谷)		1日訓練の場合																																												



	記入項目	記入要領	記入例																																				
裏	⑩予備自衛官手当	予備自衛官手当の停止年月日、再開した場合の再開年月日を記入	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">⑩予備自衛官 手 当</td> <td>手当停止年月日</td> <td>令 7. 2. 5</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>手当再開年月日</td> <td>令 7. 11. 5</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>						⑩予備自衛官 手 当	手当停止年月日	令 7. 2. 5					手当再開年月日	令 7. 11. 5																						
	⑩予備自衛官 手 当	手当停止年月日	令 7. 2. 5																																				
		手当再開年月日	令 7. 11. 5																																				
⑪防衛招集等	命令書交付番号及び命令符号、防衛招集等部隊等招集年月日（解除年月日）を記入	<table border="1"> <tr> <td colspan="7">⑪防衛招集等</td> </tr> <tr> <td>命令書交付番号 及び命令符号</td> <td>防衛招集等部隊等</td> <td colspan="5">招集年月日 (解除年月日)</td> </tr> <tr> <td>帯広空第 号</td> <td></td> <td colspan="5">令 6. 5. 10 (令 6. 10. 10)</td> </tr> </table>						⑪防衛招集等							命令書交付番号 及び命令符号	防衛招集等部隊等	招集年月日 (解除年月日)					帯広空第 号		令 6. 5. 10 (令 6. 10. 10)															
⑪防衛招集等																																							
命令書交付番号 及び命令符号	防衛招集等部隊等	招集年月日 (解除年月日)																																					
帯広空第 号		令 6. 5. 10 (令 6. 10. 10)																																					
⑫家族状況	氏名、生年月日、続柄、健否、職業を記入	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">⑫家 族 状 況</td> <td>氏 名</td> <td>生年月日</td> <td>続柄</td> <td>健否</td> <td colspan="2">職 業</td> </tr> <tr> <td>佐藤 花子</td> <td>昭 41. 10. 12</td> <td>妻</td> <td>健</td> <td colspan="2">無職</td> </tr> <tr> <td>佐藤 太郎</td> <td>平 16. 6. 7</td> <td>長男</td> <td>〃</td> <td colspan="2">大 1</td> </tr> <tr> <td>佐藤 君子</td> <td>平 17. 9. 14</td> <td>長女</td> <td>〃</td> <td colspan="2">高 3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>						⑫家 族 状 況	氏 名	生年月日	続柄	健否	職 業		佐藤 花子	昭 41. 10. 12	妻	健	無職		佐藤 太郎	平 16. 6. 7	長男	〃	大 1		佐藤 君子	平 17. 9. 14	長女	〃	高 3								
⑫家 族 状 況	氏 名	生年月日	続柄	健否	職 業																																		
	佐藤 花子	昭 41. 10. 12	妻	健	無職																																		
	佐藤 太郎	平 16. 6. 7	長男	〃	大 1																																		
	佐藤 君子	平 17. 9. 14	長女	〃	高 3																																		
面	⑬身体状況	身長、胸囲、体重、血液型を記入	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">⑬身 体 状 況</td> <td>身 長</td> <td>胸 囲</td> <td>体 重</td> <td colspan="3">血 液 型</td> </tr> <tr> <td>168 cm</td> <td>88 cm</td> <td>65 kg</td> <td colspan="3">A B R h (+)</td> </tr> </table>						⑬身 体 状 況	身 長	胸 囲	体 重	血 液 型			168 cm	88 cm	65 kg	A B R h (+)																				
	⑬身 体 状 況	身 長	胸 囲	体 重	血 液 型																																		
168 cm		88 cm	65 kg	A B R h (+)																																			
⑭被服等の号数	正帽、作業帽、制服、作業服、外とう、半長靴、短靴の号数等を志願票から転記	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">⑭制 服 等 の 号 数</td> <td>正帽</td> <td>作業帽</td> <td>制服</td> <td>作業服</td> <td>外とう</td> <td>半長靴</td> <td>短靴</td> </tr> <tr> <td>3 号</td> <td>2 号</td> <td>2 号</td> <td>2 号</td> <td>2 号</td> <td>25.5 cm</td> <td>26 cm</td> </tr> </table>						⑭制 服 等 の 号 数	正帽	作業帽	制服	作業服	外とう	半長靴	短靴	3 号	2 号	2 号	2 号	2 号	25.5 cm	26 cm																	
⑭制 服 等 の 号 数	正帽	作業帽	制服	作業服	外とう	半長靴	短靴																																
	3 号	2 号	2 号	2 号	2 号	25.5 cm	26 cm																																

	記入項目	記入要領	記入例		
裏面	㊸参考事項	(1) 予備自衛官の任用後の賞罰、主な病歴、退職時の階級・号俸及びその他について記入 (2) その他の必要事項は地本で記入	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1216 304 1279 501">㊸参考事項</td> <td data-bbox="1279 304 2056 501">           予備自衛官任用後の賞罰 地本部長表彰 令 6.5.5            主な病歴 肺結核 (平 20.2.10~21.5.10) 入院            退職時の階級・号俸 曹長 55号俸            その他必要事項 ○○会社勤務 隊友会会員         </td> </tr> </table>	㊸参考事項	予備自衛官任用後の賞罰 地本部長表彰 令 6.5.5 主な病歴 肺結核 (平 20.2.10~21.5.10) 入院 退職時の階級・号俸 曹長 55号俸 その他必要事項 ○○会社勤務 隊友会会員
㊸参考事項	予備自衛官任用後の賞罰 地本部長表彰 令 6.5.5 主な病歴 肺結核 (平 20.2.10~21.5.10) 入院 退職時の階級・号俸 曹長 55号俸 その他必要事項 ○○会社勤務 隊友会会員				

別紙様式第6 (第16条関係)

航空				予備自衛官人事月報 (A) (23-P116 (C-1))		月報年月		作成地本名		作成責任者階級氏名		実務担当者階級氏名											
区 分	階 級	幹 部							准尉	空 曹					空 士			合計					
		1 佐	2 佐	3 佐	1 尉	2 尉	3 尉	計		曹長	1 曹	2 曹	3 曹	計	士長	1 士	2 士		計				
前月		1																					
訂正等	増	2																					
	減	3																					
前月 (訂正等後)		4																					
人 員	本 月 異 動 人 員	増 員	採用	5																			
			昇進	6																			
			転入 (担当変更)	7																			
			防衛招集等解除	8																			
			小計	9																			
	減 員	退職	10																				
		昇進	11																				
		転出 (担当変更)	12																				
		防衛招集等	13																				
		小計	14																				
本 月		15																					
志 願 数	北 空	退職時	16																				
		その他	17																				
	中 空	退職時	18																				
		その他	19																				
	西 空	退職時	20																				
		その他	21																				
	南 西 空	退職時	22																				
		その他	23																				
	計	退職時	24																				
		その他	25																				
合 計		26																					

記入要領等：用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、横長に使用する。

別紙様式第7（第16条関係）

予備自衛官人事月報（B） （23-P116(C-1)）		航空	月報年月日							
記             事	連番	氏名	認識番号	階級	変更種別	変更年月日	発令日付	発令番号	記事	備考

記入要領等：1 毎月1日から末日までの間における予備自衛官の変更事項を、地方協力本部長が作成し、翌月8日までに到着するよう送付する。

2 変更種別欄の記載内容は次のとおり。

変更種別	採用等	昇進	担当変更	経歴	訓練招集	手当支給	離職等
項目	採用時		転出	改氏	A出頭（1日訓練）	停止	任満退職 免職
	その他			改名			依願退職 死亡
	防衛招集等解除		転入	従事産業	B出頭（5日訓練）	開始	失職 防衛招集等

3 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、横長に使用する。

別紙様式第8（第17条関係）

削除



別紙様式第10（第19条の2関係）

人事評価記録書（ 年度）

被評価者	階級：	氏名：
訓練招集部隊等	部隊等名：	訓練招集期間： 年 月 日～ 年 月 日
職務訓練実施部隊等	部隊等名：	訓練招集期間： 年 月 日～ 年 月 日

人 事 評 価			健康状態	訓練招集日数	訓練招集参加日数	休暇日数	任期満了日	継続希望
評価項目及び行動	評価	所見等						
訓練成績	法第70条第3項の規定により自衛官となつて勤務したときにおいて求められる能力を発揮している。							
服務態度	予備自衛官たる責務を自覚し、訓練招集に応じて専心訓練に励んでいる。		特記事項					
全体評価								
評価者	職名：	階級：	氏名：	記入日：	年	月	日	
実施権者	職名：	階級：	氏名：	記入日：	年	月	日	

- 記入要領等：1 「訓練成績」の「評価」の欄には、航空自衛隊における予備自衛官の招集訓練の実施に関する達（昭和61年航空自衛隊達第29号）別表第1第2項に定める防衛基礎訓練、職務訓練及び体育訓練の実施状況を踏まえ、訓令別表第1の2の表に定める個別評語のいずれかを記入する。
- 2 「服務態度」の「評価」の欄には、訓練別表第1の2の表に定める個別評語のいずれかを記入する。
- 3 「全体評語」の「評価」の欄には、訓練成績及び服務態度の結果を総合的に勘案して、訓令別表第1の1の表に定める全体評語のいずれかを記入する。
- 4 「健康状態」の欄には、航空自衛隊における健康診断及び体力検査に関する達（昭和60年航空自衛隊達第26号）第6条の規定に基づき実施した健康診断の結果に対し付与された判定区分を記入する。
- 5 「特記事項」の欄には、人事評価に係る所見等以外の事項について記入する。
- 6 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、横長に使用する。